

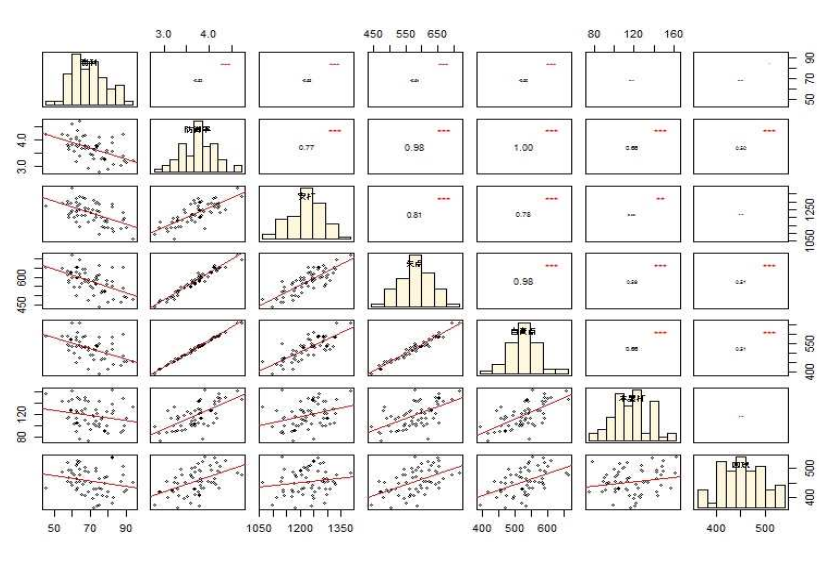
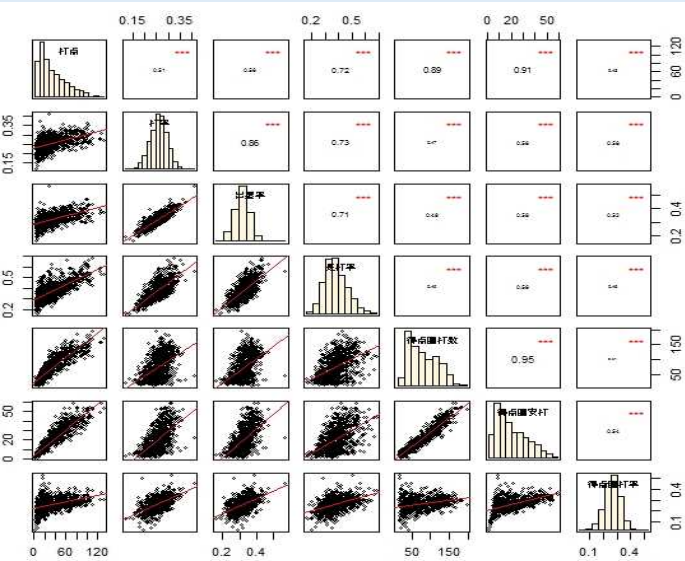
一流選手が一概に良い成績

動機

野球において、一流プレイヤーと言われる人は、大方の要素の成績が良い。そこで私たちは、全体的に良い成績を残す選手はどの成績が一概に良いといわれる選手は高いのかと疑問に思い調べた。

分析方法

本研究では、打点を筆頭にバッターの打点、打率、出塁率、長打率、得点圏打数、得点圏安打、得点圏打率及びピッチャーの勝利数、防御率、被安打、失点、自責点、被本塁打、四球のそれぞれの相関関係を求めた。私たちはRというソフトを用いて、上記のデータの相関係数を求めた。

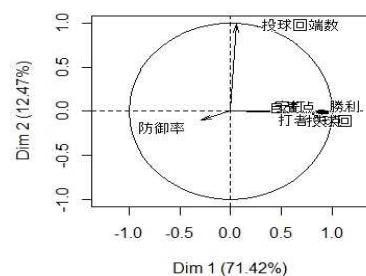
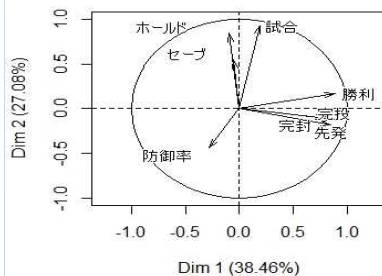
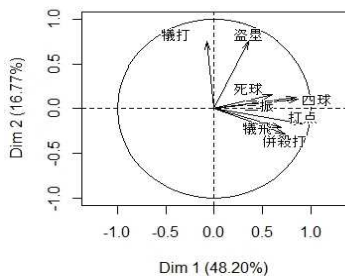
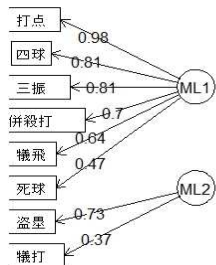


Factor Analysis

Variables factor map (PCA)

Variables factor map (PCA)

Variables factor map (PCA)



結果1 (バッター)

- ・打点と得点圏安打、得点圏打数、長打率
 - ・打率と出塁率、長打率、得点圏打数、得点圏安打
 - ・出塁率と、長打率、得点圏打数、得点圏安打
 - ・得点圏打数と得点圏安打
- 上記には、相関係数0.7以上の強い相関があることが分かった。

結果2 (ピッチャー)

- ・防御率と被安打、失点、自責点、被本塁打
 - ・失点と自責点
 - ・自責点と被本塁打
- 上記には相関係数0.7以上の強い相関があることが分かった。

考察

1. 得点圏打率のみ、いずれのデータとも相関関係が見られなかった。このことから、チャンスで確実に仕留められる選手は打率等の成績とは一線を画すと考えられる。
2. 長打率は、打率、打点、出塁率いずれとも相関がある。よって、長打率が良い選手は、成績が全体的に良いと考えられる。
3. ピッチャーはあつて当たり前の相関しかなかった。

展望

今回は1つの要素のみの相関係数しか求められなかった。今後はセイバーメトリクス等も使い、多角的に分析していきたい。次回頑張ります！！